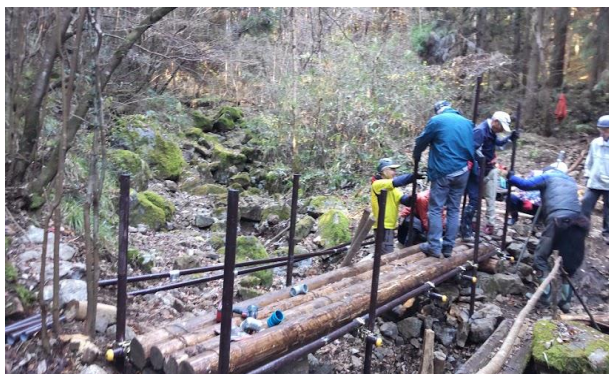


<p style="text-align: center;">Mt .Kogashi</p> <p>会報誌第 26 号</p> <p style="text-align: center;">発行人 池田正夫 発行日 令和 6 年 3 月 3 日</p>	<p style="text-align: center;">事務局 〒320-0811</p> <p>宇都宮市大通り 2 丁目 4 番 18 号 NPO 法人 古賀志山を守ろう会</p> <p>https://npo-mt-kogashi.jimdo.com/ E mail npo.mt.kogashi@gmail.com</p>
--	---

富士見沢に架かる丸太橋
(右写真)も腐食が進み抜け落ちてしまった。
この三本丸太橋は当会が付設したものではないが、この状態を看過できず当会が改修に取り掛かった。



檜丸太材の提供は国有林を管理する日光森林管理署による。風雪等で倒れ掛かっているが枯死木になっていない檜材をいただき、伐採して皮を剥き防腐剤を塗布してこの丸太橋を完成させた。

架ける以上は、「美しいものに」を合言葉に力を合わせた。これで二か所の丸太橋が完成したことになる。未だ肝心の朽ちかかった丸太橋が残っている。次年度の課題である。



II 山頂ベンチの防腐剤塗布 (2回)・富士見峠のベンチ補修

古賀志山の山頂に設置した木製ベンチも風雨と高温に晒されて劣化が進行してきた。防腐剤を購入して山頂のベンチの防腐剤塗布作業を行った。

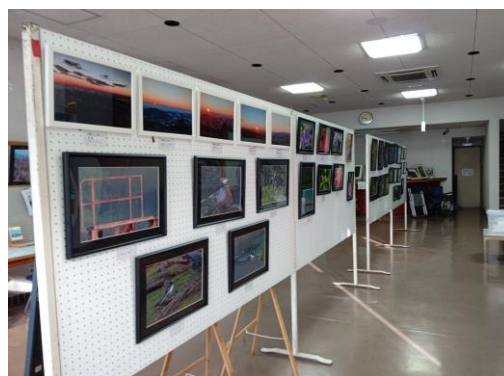


県内外から多くの登山者が訪れる古賀志山山頂部は休憩場所であり交流の場でもある。同時に個人の所有する所謂民有林であることを忘れてはならない。未必の故意による置物等が後を絶たない。厳に慎むべきである。



III 写真展開催

令和5年度の写真展は森林管理事務所のロビーをお借りして開催された。会員各位が古賀志山の植物、野鳥、キノコ、風景及び作業の成果等、多岐に亘る作品が展示された。8月から9月末日まで展示され来館者も多く訪れ賑わった。



IV 記念碑難を遁れる！



滝大権現道（通称瀧馬場通り）の入口付近にアカマツの枯死木が倒れ懸っていた。その真下には寛延四年（1751）、瀧馬場通りの道普請の記念碑があり、倒れれば直撃を免れない状況下にあった。貴重な文化財を守るため伐採を行った。



慎重に倒れる方位を予測してチェーンソーを入れた。目算通り石碑の直撃を免れる位置に倒れた。瀧馬場通りを塞ぐ倒木を切断し片づけた。記念碑の直撃が回避されたことに一同胸を撫でおろした。

V 今年も外来植物除去！！



この個所は福岡町細野入山の班根石沢林道付近。令和4年度に同一個所の外来植物の除去作業を行ったが、外来植物オオハンゴンソ-の繁殖力はたくましく根茎を抜きビニル袋に入れて処理した。

VI 株スバル社寄贈のスバルベンチ・サイクルスタンドの防腐剤塗布

(株)スバル社寄贈の通称スバルベンチ(八基)及びサイクルスタンド(二基)は高温と風雨に晒され経年劣化が目立っていた。貴スバルより防腐剤2缶の寄贈があり当会員により防腐剤塗布作業を2回ほど行った。



VII 檜材の贈呈あり

賛助会員阿久津茂氏(篠井町)より檜材の提供があり、現地にて伐採作業を行った。この檜材は現地にて表皮を剥ぎ乾燥させた後、トラックを借りて富士見沢の現場まで運び上げる予定。



この材料は令和6年度に計画している富士見沢に架かる丸太橋の改修及び広場のベンチ作成に用途が決まっている。長い日数が掛かるが阿久津茂氏のご好意に報いるために全会員の協力を以て成し遂げたい。

諸連絡

- (1) 会員各位への諸連絡はGメールにて行っています。届かない場合が発生しています。アドレス変更があった場合は速やかに当会に連絡してください。